

2013.1.7 版

平成 24 年度技術職員研修プログラム（最終版）

目的：

東大宇宙線研究所技術職員の技術研修を国立天文台三鷹と東大大学院理学研究科天文学教育研究センターで行う

日程：

2013 年 1 月 9 日－11 日（3 日間）

場所：

国立天文台（三鷹 輪講室）および東京大学大学院理学研究科天文学教育研究センター

スケジュール：

1 日目： 2013 年 1 月 9 日（水）（於：国立天文台）

11：00－11：20 概要説明（20 分）国立天文台のあらまし（岡田則夫）

11：20－12：00 講義 1（40 分）TMT 計画の紹介（高見英樹）

昼食 60 分

13：00－13：40 講義 2（40 分）ALMA プロジェクトの紹介（平松正顕）

13：40－15：20 見学 1（100 分）三鷹キャンパス（中桐正夫）

15：20－16：20 見学 2（60 分）TAMA300（高橋竜太郎）

2 日目： 2013 年 1 月 10 日（木）（於：国立天文台）

10：00－10：30 講義 3（30 分）ALMA 受信機カートリッジの開発について（伊藤哲也）

10：30－12：00 見学 3（90 分）ATC 所内施設（岡田則夫）

昼食 60 分

13：00－13：40 講義 4（40 分）ひので科学プロジェクトの紹介（鹿野良平）

13：40－14：20 講義 5（40 分）ひので衛星搭載部品のコンタミ測定（田村友範）

14：20－15：00 講義 6（40 分）すばる H S C の電子回路（中屋秀彦）

休憩 20 分

15：20－16：00 講義 7（40 分）KAGRA 望遠鏡計画の紹介（安東正樹）

16：00－16：30 講義 8（30 分）ALMA OSF の紹介（池ノ上文吾）

17：00－17：30 発表（30 分）東大宇宙線研技術職員の業務紹介（東大宇宙線研 東谷）

17：30－18：30 講演（60 分）「科学の装置作り：先進性と実用性をどう両立させるか？」
チリ観測所（稲谷順司）

18：30－19：30 懇親会

3日目：2013年1月11日（金）（於：東京大学天文学教育研究センター）

10：00－10：50 4D2U 観覧（上映時間約30分＋ α 、於：4D2U ドームシアター）

11：00－11：20 TAO 計画紹介（20分）miniTAO と TAO（本原顕太郎）

11：20－12：00 講義9（40分）近赤外線観測技術（小西真広）

13：30－14：10 講義10（40分）中間赤外線観測技術（上塚貴史）

14：30－15：30 実験室見学（60分）

世話人：

国立天文台：岡田則夫（先端技術センター主任研究技師）

常田佐久（先端技術センター長）

高見英樹（国立天文台技術主幹）

東大天文センター：本原顕太郎（准教授）

東大宇宙線研究所：東谷千比呂（技術職員）

参加者：

柏勤務者：篠原、青木、大岡、下平、石塚、東谷

神岡勤務者：牛丸、岡崎

教員：岸本

その他の参加希望者：技術補佐員、希望する教員・職員等

以上